

2021年12月14日

各位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 松本大
(コード番号 8698 東証第一部)

マネックスグループおよびマネックス証券、 D&I 取組み指標「D&I Award 2021」において「Best Workplace」認定を受賞



マネックスグループ株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長 松本大）およびグループ会社のマネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 清明祐子）は、株式会社 JobRainbow が策定する、職場におけるダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に関する取組み企業を認定するアワード、「D&I Award 2021」(※1)において、「Best Workplace for Diversity & Inclusion」認定を受賞しました。

当社は企業理念として「MONEX とは MONEY の Y を一歩進め、一足先の未来における人の活動を表わしています。」と掲げ、個人の自己実現を可能にし、その生涯バランスシートを最良化することを目指しています。また、行動指針では「お客様と社員の多様性を尊重します」と明記し、ダイバーシティ&インクルージョンに加えて、エクイティ（公平性）を付け加えた、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（以下、DEI）を、当社グループの考え方そのものと捉え、以下のような取組みを実施しています。

<ジェンダーギャップについて>

- 賃金における有意な性差はなし（管理職平均年俸比：女性 0.98、男性 1.00）
- 社員の福利厚生申請手続きに同性パートナーを対象に発行する「パートナーシップ証明書」導入(※2)

<育児・介護について>

- 年に一度の荒川清掃活動、また主催団体の環境講話を聞く機会では、社員の家族単位で参加が可能
- 産前産後休業後の職場復帰を支援する環境や体制の整備により、男性の育休休暇取得も推進。
女性役員・社員の職場復帰率は100%
- 育児・介護のための休業及び短縮時間勤務を就業規則に規定

<多文化共生について>

- 人権方針(※3)にて、差別や人権侵害なく、互いを尊重し、多様な価値観を認め合うことを規定
- 社員の持つ多様な背景や価値観に対する考え方についての DEI 社内研修を開催

<障がいについて>

- 障がい者の活躍推進に取組む世界的なムーブメント「The Valuable 500」の加盟文書に署名
- 管理職を対象とした障がい者研修の実施

マネックスグループは、ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組みの中でも、DEI を自社事業ならびにステークホルダーへのインパクトが大きいものとして、ESG（環境・社会・ガバナンス）のマテリアリティ・マトリックス内にて特定しています。今後もマネックスグループは、多様性や公平性を尊重し、あらゆる人々が安心して幸せに生活できるための金融インフラの構築や、個人が必要とする最良の金融サービスの提供を通じて、社会の持続的成長につながる取組みを展開していきます。

(※1) D&I Award について (<https://diaward.jobrainbow.jp/top>)

(※2) 一般社団法人 Famiee 「パートナーシップ証明書」について (<https://www.famiee.com/>)

(※3) 「マネックスグループ人権方針」 (https://www.monexgroup.jp/jp/company/business_principles/humanrights.html)

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

(株主・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、相原 電話 03-4323-8698